

平成29年度福島県の発電所周辺環境  
モニタリング計画（案）

福 島 県

## 平成29年度 福島県の発電所周辺環境モニタリング計画

### 1 方針

原子力発電所周辺の環境放射能の監視測定を実施し、周辺住民等の健康と安全の確保に資するものとする。  
調査対象地域は、東京電力(株)福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所から概ね半径30kmまでの範囲及び計画的避難区域（平成23年4月22日設定時）内とする。

### 2 測定項目等

#### (1) 空間放射線

No.	測定項目	地点数	頻度	備考
1	空間線量率	39	連続	3地点増
2	空間積算線量	64	4回/年(3ヵ月積算)	

#### (2) 環境試料

No.	区分	試料名	種類または部位	測定項目	地点数	頻度	備考
1	降下物	降下物	雨水ちり	ガンマ線放出核種濃度	10	12回/年	1地点増 8地点減
2	大気	大気浮遊じん	地表上 約3m ～ 約1m	全アルファ放射能 全ベータ放射能	17	連続	3地点増
				全アルファ放射能 全ベータ放射能 (リアルタイム測定)	26	連続	3地点増 1地点減
				ガンマ線放出核種濃度	26	12回/年	3地点増 1地点減
					16	52回/年	3地点減
3	陸土	陸土	表土 (0~5cm)	ガンマ線放出核種濃度	15	2回/年	
				放射性ストロンチウム濃度		1回/年	
				プルトニウム濃度			
				アメリカシウム濃度			
				キュリウム濃度			
4	陸水	上水	蛇口水	ガンマ線放出核種濃度	13	4回/年	
				トリチウム濃度			
				放射性ストロンチウム濃度		1回/年	
				プルトニウム濃度			

No.	区分	試料名	種類または部位	測定項目	地点数	頻度	備考
5	海	海水 (第一(発))	表面水	ガンマ線放出核種濃度	6	12回/年	
				トリチウム濃度			
				全ベータ放射能			
				放射性ストロンチウム濃度			
				プルトニウム濃度			
	水	海水 (第二(発))	表面水	ガンマ線放出核種濃度	2	4回/年	
				トリチウム濃度		1回/年	
				全ベータ放射能			
				放射性ストロンチウム濃度			
				プルトニウム濃度			
6	海底土	海底土 (第一(発))	海砂または海底土	ガンマ線放出核種濃度	6	4回/年	
			放射性ストロンチウム濃度				
			プルトニウム濃度				
	海底土	海底土 (第二(発))	海砂または海底土	ガンマ線放出核種濃度	2	4回/年	
			放射性ストロンチウム濃度	1回/年			
			プルトニウム濃度				
7	指標植物	松葉	葉	ガンマ線放出核種濃度 (ヨウ素-131を含む)	15	4回/年	

(注) 第一(発)：福島第一原子力発電所  
第二(発)：福島第二原子力発電所

## 平成29年度福島県の発電所周辺環境モニタリング実施要領

### 1 目的

本実施要領は、平成29年度福島県の発電所周辺環境モニタリング計画に基づき、原子力発電所周辺地域の環境放射能の監視測定を実施するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

### 2 実施機関

福島県環境創造センター

### 3 測定項目等

#### (1) 空間放射線

No.	測定項目	地点数	頻度	備考
1	空間線量率	39	連続	
2	空間積算線量	64	4回/年(3ヵ月積算)	

#### (2) 環境試料

No.	区分	試料名	種類または部位	測定項目	採取量	地点数	頻度	検体数
1	降下物	降下物	雨水ちり	ガンマ線放出核種濃度	1ヵ月分	10	12回/年	120
2	大気	大気浮遊じん	地表上 約3m ～ 約1m	全アルファ放射能 全ベータ放射能 (集じん終了6時間後測定)	約90m <sup>3</sup> /6h	17	連続	—
				全アルファ放射能 全ベータ放射能 (リアルタイム測定)	約90m <sup>3</sup> /6h	17	連続	—
					約18m <sup>3</sup> /6h	9	連続	—
				ガンマ線放出核種濃度	1ヵ月分	26	12回/年	312
				ガンマ線放出核種濃度	1週間分	16	52回/年	832
3	陸土	陸土	表土 (0～5cm)	ガンマ線放出核種濃度	2kg	15	2回/年	30
				放射性ストロンチウム濃度			1回/年	15
				プルトニウム濃度			1回/年	15
				アメリカシウム濃度			1回/年	15
				キュリウム濃度			1回/年	15
4	陸水	上水	蛇口水	ガンマ線放出核種濃度	20ℓ	13	4回/年	52
				トリチウム濃度	1ℓ			
				放射性ストロンチウム濃度	100ℓ	13	1回/年	13
				プルトニウム濃度	100ℓ			

No.	区分	試料名	種類または部位	測定項目	採取量	地点数	頻度	検体数
5	海水	海水	表面水	ガンマ線放出核種濃度	200	6	12回/年 第一(発) 周辺海域	72
				トリチウム濃度	10			
				全ベータ放射能	10	2	4回/年 第二(発) 放水口	8
				放射性ストロンチウム濃度	400			
プルトニウム濃度	1000	2	1回/年 第二(発) 放水口	2				
6	海底土				海底土	海砂または海底土	ガンマ線放出核種濃度	3kg
				2			4回/年 第二(発) 放水口	8
		放射性ストロンチウム濃度	1kg					
		プルトニウム濃度	3kg	2			1回/年 第二(発) 放水口	2
7	指標植物	松葉	葉		ガンマ線放出核種濃度 (ヨウ素-131を含む)	0.2kg		

4 測定地点等  
 (1) 空間放射線  
 ア 空間線量率

No.	地点の名称	所在地	備考
1	いわき市 小川	いわき市小川町上小川字表7-1	
2	いわき市 久之浜	いわき市久之浜町田之網字江之網105-1	
3	いわき市 下桶売	いわき市川前町下桶売字久保田122-3	
4	いわき市 川前	いわき市川前町川前荷付場1-1	
5	田村市 都路馬洗戸	田村市都路町古道字休場33-36	
6	広野町 二ツ沼	広野町大字下北迫字大谷地原63-1	
7	広野町 小滝平	広野町大字上浅見川字土ヶ目木1-7	
8	檜葉町 山田岡	檜葉町大字山田岡字宮下47	
9	檜葉町 木戸ダム	檜葉町大字上小埜字シベソフ9	
10	檜葉町 繁岡	檜葉町大字上繁岡字山神97-36	
11	檜葉町 松館	檜葉町大字上繁岡字中平218-2	
12	檜葉町 波倉	檜葉町大字波倉字前山1-2	
13	富岡町 上郡山	富岡町大字上郡山字滝ノ沢426-5	
14	富岡町 下郡山	富岡町大字下郡山字原下155	
15	富岡町 深谷	富岡町大字小良ヶ浜字深谷地内	*1
16	富岡町 富岡	富岡町本町1-1	
17	富岡町 夜の森	富岡町字夜の森南一丁目25	
18	川内村 下川内	川内村大字下川内字山梨作504-1	
19	大熊町 向畑	大熊町大字小入野字向畑257	
20	大熊町 熊川	大熊町大字熊川字八坂93-2	*1
21	大熊町 南台	大熊町大字夫沢字南台82-7	
22	大熊町 大野	大熊町大字下野上字大野199	
23	大熊町 夫沢	大熊町大字夫沢字大282-1	
24	双葉町 山田	双葉町大字山田字北田179	
25	双葉町 郡山	双葉町大字郡山字塚腰93-1	
26	双葉町 新山	双葉町大字長塚字町東154	
27	双葉町 上羽鳥	双葉町大字上羽鳥字榎内287	
28	浪江町 請戸	浪江町大字請戸字持平56	*1
29	浪江町 棚塩	浪江町大字棚塩字中舂倉64-1	*1
30	浪江町 浪江	浪江町大字権現堂字北深町34-1	
31	浪江町 幾世橋	浪江町大字北幾世橋字植畑11	
32	浪江町 大柿ダム	浪江町大字室原字十年平地内	
33	浪江町 南津島	浪江町大字南津島字下冷田137-1	
34	葛尾村 夏湯	葛尾村大字落合字夏湯148-2	
35	南相馬市 泉沢	南相馬市小高区泉沢字大久195	
36	南相馬市 横川ダム	南相馬市原町区馬場字滝76-1	
37	南相馬市 萱浜	南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-169	新規
38	飯館村 伊丹沢	飯館村伊丹沢字伊丹沢580-1	新規
39	川俣町 山木屋	川俣町山木屋小塚山9-1	新規

\*1 可搬型モニタリングポストによる測定

イ 空間積算線量

No.	地点の名称	所在地	備考
1	いわき市 石 森	いわき市平四ツ波字石森116	
2	いわき市 四 倉	いわき市四倉町上仁井田横川67	
3	いわき市 大 野	いわき市四倉町山田小湊方礼31	
4	いわき市 福 岡	いわき市小川町福岡山根47	
5	いわき市 大 久	いわき市大久町大久字鶴房147-2	
6	いわき市 末 続	いわき市久之浜町末続字代33-3	
7	いわき市 上 小 川	いわき市小川町上小川中戸渡40	
8	いわき市 志 田 名	いわき市川前町下桶売字荻77-4	
9	いわき市 小 白 井	いわき市川前町小白井字大小屋36-1	
10	田 村 市 場 々	田村市都路町古道字場々150	
11	田 村 市 古 道	田村市都路町古道字北町24	
12	田 村 市 岩 井 沢	田村市都路町岩井沢字中作76	
13	広 野 町 下 浅 見 川	広野町大字下浅見川字築地12	
14	広 野 町 箒 平	広野町大字上浅見川字下箒平1-2	
15	檜 葉 町 山 田 岡	檜葉町大字山田岡字宮下47	
16	檜 葉 町 乙 次 郎	檜葉町大字大谷字乙次郎133	
17	檜 葉 町 井 出	檜葉町大字井出字上ノ岡33	
18	檜 葉 町 上 繁 岡	檜葉町大字上繁岡字中平184-1	
19	富 岡 町 太 田	富岡町大字上郡山字太田478-1	
20	富 岡 町 赤 木	富岡町大字本岡字赤木548	
21	富 岡 町 小 良 ヶ 浜	富岡町大字小良ヶ浜字赤坂468	
22	富 岡 町 夜 の 森 北	富岡町字夜の森北二丁目13-1	
23	富 岡 町 上 手 岡	富岡町大字上手岡地内	
24	川 内 村 三 ツ 石	川内村大字下川内字三ツ石50	
25	川 内 村 貝 ノ 坂	川内村大字下川内字貝ノ坂252-3	
26	川 内 村 五 枚 沢	川内村大字下川内字五枚沢35-5	
27	川 内 村 上 川 内	川内村大字上川内字沼畑125	
28	大 熊 町 大 川 原	大熊町大字大川原字南平1138-2	
29	大 熊 町 旭 ケ 丘	大熊町大字野上字旭ヶ丘337	
30	大 熊 町 野 上	大熊町大字野上字諏訪312	
31	大 熊 町 熊 川	大熊町大字熊川字古館地内	
32	大 熊 町 大 野	大熊町大字下野上字大野199	
33	大 熊 町 夫 沢	大熊町大字夫沢字大282-1	
34	大 熊 町 湯 の 神	大熊町大字野上字湯の神432-2	
35	大 熊 町 長 者 原	大熊町大字夫沢字長者原309	
36	双 葉 町 清 戸 迫	双葉町大字新山字清戸迫1	
37	双 葉 町 郡 山	双葉町大字郡山字塚腰113	
38	双 葉 町 長 塚	双葉町大字長塚字越田63	
39	浪 江 町 井 手	浪江町大字井手字大高倉50	
40	浪 江 町 請 戸	浪江町大字請戸字持平56	

No.	地点の名称	所在地	備考
41	浪江町 <small>おの</small> 小野田	浪江町大字小野田字仲善寺134-1	
42	浪江町 <small>きよ</small> 幾世橋	浪江町大字北幾世橋字植畑11	
43	浪江町 <small>かみ</small> 苧宿	浪江町大字苧宿字鹿畑16	
44	浪江町 <small>ひる</small> 昼曾根	浪江町大字昼曾根字昼曾根38-1	
45	浪江町 <small>つ</small> 津島	浪江町大字下津島字宮平109	
46	葛尾村 <small>おお</small> 大放	葛尾村大字落合字大放159-31	
47	葛尾村 <small>おち</small> 落合	葛尾村大字落合字落合16	
48	葛尾村 <small>かき</small> 野行	葛尾村大字葛尾字野行68	
49	南相馬市 <small>みづ</small> 浦尻	南相馬市小高区浦尻地内	
50	南相馬市 <small>みみ</small> 耳谷	南相馬市小高区耳谷字桃内15-2	
51	南相馬市 <small>かわ</small> 川房	南相馬市小高区川房字猿田73-2	
52	南相馬市 <small>せき</small> 関場	南相馬市小高区関場一丁目77-1	
53	南相馬市 <small>たか</small> 高	南相馬市原町区高字金井神地内	
54	南相馬市 <small>おお</small> 大木戸	南相馬市原町区大木戸字西原1	
55	南相馬市 <small>かひ</small> 萱浜	南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-112	
56	南相馬市 <small>おお</small> 大原	南相馬市原町区大原台畑9-2	
57	南相馬市 <small>かわ</small> 川子	南相馬市鹿島区川子字森山23-1	
58	飯舘村 <small>わらび</small> 蕨平	飯舘村蕨平字蕨平222	
59	飯舘村 <small>なが</small> 長泥	飯舘村長泥字長泥833	
60	飯舘村 <small>いり</small> 飯樋	飯舘村飯樋字町102	
61	飯舘村 <small>しろ</small> 白石	飯舘村白石字田尻127-1	
62	飯舘村 <small>くさ</small> 草野	飯舘村草野字大師堂113-1	
63	川俣町 <small>やま</small> 山木屋坂下	川俣町山木屋字坂下19-3	
64	川俣町 <small>やま</small> 山木屋	川俣町山木屋字大清水3-5	



## (2) 環境試料

## ア 降下物

## (7) 降下物 (大型水盤)

No.	地点の名称	採取地	測定項目
1	いわき市 久之浜	いわき市久之浜町久之浜字糠塚15	γ核種
2	田村市 都路	田村市都路町古町字本町33-4	
3	富岡町 富岡	富岡町本町1-1	
4	大熊町 大野	大熊町大字下野上字大野199	
5	双葉町 郡山	双葉町大字郡山字塚腰93-1	
6	南相馬市 萱浜	南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-169	

## (イ) 降下物 (小型水盤)

No.	地点の名称	採取地	測定項目
7	浪江町 浪江	浪江町大字権現堂字北深町34-1	γ核種
8	浪江町 津島	浪江町大字下津島字松木山22-1	
9	葛尾村 柏原	葛尾村大字葛尾字柏原24-2	
10	川俣町 山木屋	川俣町山木屋字大清水3-5	

## イ 大気

## (7) 大気浮遊じん (連続ダストモニタによる)

No.	地点の名称	採取地	測定項目
1	いわき市 小川	いわき市小川町上小川字表7-1	全α 全β γ核種  全α及び全βは集塵中及び、6時間連続集じん・6時間放置後測定。 γ核種は毎月1回測定。
2	田村市 都路馬洗戸	田村市都路町古道字休場33-36	
3	広野町 小滝平	広野町大字上浅見川字土ヶ目木1-7	
4	檜葉町 木戸ダム	檜葉町大字上小埜シベソフ9	
5	檜葉町 繁岡	檜葉町大字上繁岡山神97-36	
6	富岡町 富岡	富岡町本町1-1	
7	川内村 下川内	川内村大字下川内字山梨作504-1	
8	大熊町 大野	大熊町大字下野上字大野199	
9	大熊町 夫沢	大熊町大字夫沢字大282-1	
10	双葉町 郡山	双葉町大字郡山字塚腰93-1	
11	浪江町 幾世橋	浪江町大字北幾世橋字植畑11	
12	浪江町 大柿ダム	浪江町大字室原字十年平地内	
13	葛尾村 夏湯	葛尾村大字落合字夏湯148-2	
14	南相馬市 泉沢	南相馬市小高区泉沢字大久195	
15	南相馬市 萱浜	南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-169	
16	飯舘村 伊丹沢	飯舘村伊丹沢字伊丹沢580-1	
17	川俣町 山木屋	川俣町山木屋小塚山9-1	

## (イ) 大気浮遊じん (リアルタイムダストモニタによる)

No.	地点の名称	採取地	測定項目
18	いわき市 久之浜	いわき市久之浜町田之網字江之網105-1	全 $\alpha$
19	いわき市 下桶売	いわき市川前町下桶売字久保田122-3	
20	いわき市 川前	いわき市川前町川前荷付場1-1	全 $\beta$
21	大熊町 向畑	大熊町大字小入野字向畑257	$\gamma$ 核種
22	双葉町 山田	双葉町大字山田字北田179	
23	双葉町 新山	双葉町大字長塚字町東154	全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ は集塵中測定。 $\gamma$ 核種は毎月 1回測定。
24	双葉町 上羽鳥	双葉町大字上羽鳥字榎内287	
25	浪江町 南津島	浪江町大字南津島字下冷田137-1	
26	南相馬市 横川ダム	南相馬市原町区馬場字滝76-1	

## (ウ) 大気浮遊じん (ダストサンプラーによる)

No.	地点の名称	採取地	測定項目
27	広野町 二ツ沼	広野町大字下北迫字大谷地原63-1	$\gamma$ 核種 毎週1回測定。
28	檜葉町 山田岡	檜葉町大字山田岡字宮下47	
29	檜葉町 松館	檜葉町大字上繁岡字中平218-2	
30	檜葉町 波倉	檜葉町大字波倉字前山1-2	
31	富岡町 上郡山	富岡町大字上郡山字滝ノ沢426-5	
32	富岡町 下郡山	富岡町大字下郡山字原下155	
33	富岡町 夜の森	富岡町字夜の森南一丁目25	
34	大熊町 南台	大熊町大字夫沢字南台82-7	
35	浪江町 浪江	浪江町大字権現堂字北深町34-1	

## (エ) 大気浮遊じん (簡易型ダストサンプラーによる)

No.	地点の名称	採取地	測定項目
36	田村市 滝根	田村市滝根町広瀬針湯55	$\gamma$ 核種 毎週1回測定。
37	田村市 船引	田村市船引町船引源次郎131	
38	田村市 上移	田村市船引町上移字町147	
39	川内村 上川内	川内村大字上川内字早渡11-24	
40	南相馬市 馬場	南相馬市原町区馬場字中内231-1	
41	南相馬市 大木戸	南相馬市原町区大木戸字西原1	
42	南相馬市 檜原	南相馬市鹿島区檜原字竹花25-1	

ウ 陸 土

No.	地 点 の 名 称	採 取 地	測定項目
1	いわき市 久之浜	いわき市久之浜町字久之浜	γ 核種 Sr Pu Am Cm
2	田 村 市 古 道	田村市都路町古道字北町	
3	広 野 町 下 北 迫	広野町大字下北迫字新町	
4	檜 葉 町 波 倉	檜葉町大字波倉字浜畑	
5	富 岡 町 小 浜	富岡町大字小浜字大膳町	
6	川 内 村 上 川 内	川内村大字上川内字町分	
7	大 熊 町 夫 沢	大熊町大字夫沢字東台	
8	双 葉 町 郡 山	双葉町大字郡山字本風呂	
9	浪 江 町 北 幾 世 橋	浪江町大字北幾世橋字八景下	
10	葛 尾 村 柏 原	葛尾村大字葛尾字柏原	
11	南相馬市 浦 尻	南相馬市小高区浦尻字中林崎	
12	南相馬市 馬 場	南相馬市原町区馬場	
13	飯 館 村 蕨 平	飯館村蕨平字蕨平	
14	飯 館 村 長 泥	飯館村長泥字長泥	
15	川 俣 町 山 木 屋	川俣町山木屋字小塚	

エ 陸水（上水）

No.	地 点 の 名 称	採 取 地	測定項目
1	い わ き 市	いわき市久之浜町字久之浜糠沢15	γ 核種 <sup>3</sup> H Sr Pu
2	田 村 市	田村市都路町古道字本町33	
3	広 野 町	広野町大字下北迫字大谷地原65	
4	檜 葉 町	檜葉町大字北田字鐘突堂5-6	
5	富 岡 町	富岡町大字本岡字王塚622-1	
6	川 内 村	川内村大字下川内字坂シ内133-5	
7	大 熊 町	大熊町大字下野上字大野634	
8	双 葉 町	双葉町大字新山字前沖28	
9	浪 江 町	浪江町大字幾世橋字六反田7-2	
10	葛 尾 村	葛尾村大字落合字落合16	
11	南 相 馬 市	南相馬市小高区本町2-78	
12	飯 館 村	飯館村伊丹沢字伊丹沢580-1	
13	川 俣 町	川俣町山木屋字問屋68	

オ 海水

No.	地 点 の 名 称	採 取 地	測定項目
1	第一(発)南放水口	福島第一原子力発電所南放水口付近	γ 核種 <sup>3</sup> H 全β Sr Pu
2	第一(発)北放水口	福島第一原子力発電所北放水口付近	
3	第一(発)取水口	福島第一原子力発電所港湾出入口付近	
4	第一(発)沖合	福島第一原子力発電所沖合 2 km付近	
5	夫沢・熊川沖	大熊町 夫沢・熊川沖 2 km付近	
6	双葉・前田川沖	双葉町 前田川沖 2 km付近	
7	第二(発)南放水口	福島第二原子力発電所南放水口付近	
8	第二(発)北放水口	福島第二原子力発電所北放水口付近	

カ 海底土

No.	地点の名称	採取地	測定項目
1	第一(発)南放水口	福島第一原子力発電所南放水口付近	γ 核種 Sr Pu
2	第一(発)北放水口	福島第一原子力発電所北放水口付近	
3	第一(発)取水口	福島第一原子力発電所港湾出入口付近	
4	第一(発)沖合	福島第一原子力発電所沖合 2 km付近	
5	夫沢・熊川沖	大熊町 夫沢・熊川沖 2 km付近	
6	双葉・前田川沖	双葉町 前田川沖 2 km付近	
7	第二(発)南放水口	福島第二原子力発電所南放水口付近	
8	第二(発)北放水口	福島第二原子力発電所北放水口付近	

キ 指標植物 (松葉)

No.	地点の名称	採取地	測定項目
1	いわき市 久之浜	いわき市久之浜町金ヶ沢字北磯脇	γ 核種
2	田村市 古道	田村市都路町古道字蒲生河原	
3	広野町 上北迫	広野町大字上北迫字岩沢	
4	檜葉町 波倉	檜葉町大字波倉字浜畑	
5	富岡町 小浜	富岡町小浜	
6	川内村 上川内	川内村大字上川内字町分	
7	大熊町 夫沢	大熊町大字夫沢字南台	
8	大熊町 大川原	大熊町大字大川原字西平	
9	双葉町 郡山	双葉町大字郡山字南久保谷地	
10	浪江町 北幾世橋	浪江町大字北幾世橋植ノ畑	
11	葛尾村 柏原	葛尾村大字葛尾字柏原	
12	南相馬市 浦尻	南相馬市小高区浦尻字北原	
13	飯舘村 蕨平	飯舘村蕨平字蕨平	
14	飯舘村 長泥	飯舘村長泥字長泥	
15	川俣町 山木屋	川俣町山木屋字小塚山	

- (注) γ 核種 : ガンマ線放出核種濃度  
<sup>3</sup>H : トリチウム濃度  
 全α : 全アルファ放射能  
 全β : 全ベータ放射能  
 Sr : 放射性ストロンチウム濃度  
 Pu : プルトニウム濃度  
 Am : アメリシウム濃度  
 Cm : キュリウム濃度

## 5 測定方法

測定方法は、次のとおりとする。

なお、詳細については、「文部科学省放射能測定法シリーズ」に定めるところによる。

### (1) 空間放射線

測定項目	測定方法	測定機器
空間線量率	検出器：2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器 (温度補償・エネルギー補償回路) または14リットルアルミ製加圧型球形電離箱検出器 測定位置：地表上約3mまたは1m 測定方法：連続、テレメータシステムによる集中監視	モニタリングポスト (No. 1~14, 16~19, 21~27, 30~39)
	検出器：2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器 (温度補償・エネルギー補償回路) または半導体検出器 測定位置：地表上1m 測定方法：連続、テレメータシステムによる集中監視	モニタリングポスト (No. 15, 20, 28, 29)
空間積算線量	検出器：蛍光ガラス線量計 測定位置：地表上1m 測定方法：連続、3ヵ月積算(各地点3素子を配置、回収後測定)	蛍光ガラス線量計 計測装置

### (2) 環境試料

#### ア 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能

測定項目	測定方法	測定機器
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能	検出器：ZnS(Ag)シンチレータと プラスチックシンチレータのほり合せ検出器 採取位置：地表上約3mまたは1.7m 測定方法：集じん中及び、6時間連続集じん・6時間放置後、全アルファ・全ベータ放射能を同時測定。 テレメータシステムにより集中監視 測定吸気量：約90m <sup>3</sup> /6h 使用する紙：HE-40T	ダストモニタ
	検出器：プレーナシリコンα/β検出器、 またはZnS(Ag)シンチレータと プラスチックシンチレータのほり合せ検出器 採取位置：地表上約2m 測定方法：集じん中、全アルファ・全ベータ放射能を同時測定。 テレメータシステムにより集中監視 測定吸気量：約18m <sup>3</sup> /6h 使用する紙：iCAM/ROLL、またはHE-40T	リアルタイム ダストモニタ

#### イ 環境試料の全ベータ放射能

試料区分	測定試料形態	測定用試料量	測定時間	測定機器
海水	鉄バリウム共沈物	1ℓの共沈物全量	60分以上	ローバックグラウンド ガスフロー計数装置

ウ ガンマ線放出核種濃度

次表のとおりとするが、放射能濃度に応じて、測定試料形態、測定用試料量を変更できるものとする。

試料区分	測定試料形態	測定用試料量	対象核種	測定時間	測定機器
降下物	蒸発残留物	1ヵ月分 雨水ちりの蒸発残留物 0.5m <sup>2</sup> (大型水盤) または0.085m <sup>2</sup> (小型水盤)	<sup>60</sup> Co, <sup>137</sup> Cs等	80,000秒程度	ゲルマニウム半導体検出装置
大気	集じんろ紙 (灰化物)  ※ ガラス繊維ろ紙は灰化不能なので灰化未実施	1ヵ月分の集じんろ紙 (約 11,000m <sup>2</sup> )	<sup>60</sup> Co, <sup>137</sup> Cs等		
		1ヵ月分の集じんろ紙 (約 2,200m <sup>2</sup> )			
		1日分の集じんろ紙 (約 1,000m <sup>2</sup> ) ※			
		1週間分の集じんろ紙 (約 7,000m <sup>2</sup> ) ※			
陸土	乾燥細土 (ふるい2mm以下)	測定容器容量分	<sup>60</sup> Co, <sup>137</sup> Cs等		
陸水	蒸発残留物	上水 20ℓ	<sup>60</sup> Co, <sup>137</sup> Cs等		
海水	リンモリブデン酸アンモニウム、二酸化マンガン沈殿物	海水 20ℓ	<sup>60</sup> Co, <sup>137</sup> Cs等		
海底土	乾燥細土 (ふるい2mm以下)	測定容器容量分	<sup>60</sup> Co, <sup>137</sup> Cs等		
指標植物	乾燥物	測定容器容量分	<sup>60</sup> Co, <sup>131</sup> I, <sup>137</sup> Cs等		

(注) 測定容器は、「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(文部科学省:平成4年改訂)に記載されているU-8容器またはU-8容器と同程度の形状、容量のポリプロピレン製容器とする。

(注) 対象核種「<sup>60</sup>Co, <sup>137</sup>Cs等」とは、<sup>51</sup>Cr, <sup>54</sup>Mn, <sup>58</sup>Co, <sup>59</sup>Fe, <sup>60</sup>Co, <sup>95</sup>Zr, <sup>95</sup>Nb, <sup>106</sup>Ru, <sup>134</sup>Cs, <sup>137</sup>Cs, <sup>144</sup>Ce等のγ線を放出する人工放射性核種とする。

(注) 放射能濃度に応じて、測定試料形態、測定用試料量を変更する場合は、「緊急時におけるガンマスペクトロメトリーのための試料前処理法」(文部科学省:平成4年)及び「緊急時におけるガンマ線スペクトル解析法」(文部科学省:平成16年)に準拠する。

エ トリチウム濃度

試料区分	測定試料形態	測定用試料量	測定時間	測定機器
大気	蒸留水	約40～50ml	20分以上を繰り返す	ローバックグラウンド液体シンチレーション測定装置
陸水				
海水				

オ 放射性ストロンチウム濃度

試料区分	測定用試料量	測定時間	分析方法及び測定機器
陸土	乾燥細土 100g	60分以上	イオン交換法等により化学分離調製後、ローバックグラウンドガスフロー計数装置により測定。
陸水	陸水 100ℓ		
海水	海水 40～50ℓ		
海底土	乾燥細土 100g		

(注) 対象ストロンチウム核種は、<sup>90</sup>Sr とする。

カ プルトニウム濃度

試料区分	測定用試料量	測定時間	分析方法及び測定機器
陸 土	乾燥細土 50 g	80,000秒程度	プルトニウムを化学分離し、電着用試料を調製後、シリコン半導体検出装置、波高分析器により測定。
陸 水	100 ℓ		
海 水	100 ℓ		
海 底 土	乾燥細土 50 g		

(注) 対象プルトニウム核種は、 $^{238}\text{Pu}$  及び  $^{239+240}\text{Pu}$  とする。

キ アメリシウム濃度、キュリウム濃度

試料区分	測定用試料量	測定時間	分析方法及び測定機器
陸 土	乾燥細土 50 g	80,000秒程度	アメリシウム及びキュリウムを化学分離し、電着用試料を調製後、シリコン半導体検出装置、波高分析器により測定。

(注) 対象アメリシウム核種は $^{241}\text{Am}$ 、対象キュリウム核種は $^{244}\text{Cm}$ とする。

## 6 比較対照地点測定調査

原子力発電所周辺地域の監視測定結果の評価解析に資するため、次に示す比較対照地点調査を実施するものとする。なお、測定方法は、本実施要領の「5 測定方法」に準ずる。

### (1) 測定項目

#### ア 空間線量率

No.	測定項目	地点数	頻度	備考
1	空間線量率	3	連続	

#### イ 環境試料

No.	区分	試料名	種類または部位	測定項目	採取量	地点数	頻度	検体数
1	降下物	降下物	雨水ちり	ガンマ線放出核種濃度	1ヵ月分	2	12回/年	24
2	大気	大気浮遊じん	地表上約1m	ガンマ線放出核種濃度	1日分	7	12回/年	84
		大気中水分	地表上1~1.5m	トリチウム濃度	1ヵ月分	1	12回/年	12
3	陸土	陸土	表土(0~5cm)	ガンマ線放出核種濃度	2kg	7	1回/年	7
				放射性ストロンチウム濃度		7	1回/年	7
				プルトニウム濃度		7	1回/年	7
				アメリカシウム濃度		1	1回/年	1
				キュリウム濃度		1	1回/年	1
4	陸水	上水	蛇口水	ガンマ線放出核種濃度	200	2	1回/年	2
				トリチウム濃度	10	2	1回/年	2
				放射性ストロンチウム濃度	1000	1	1回/年	1
				プルトニウム濃度	1000	1	1回/年	1
5	海水	海水	表面水	ガンマ線放出核種濃度	200	1	1回/年	1
				トリチウム濃度	10	1	1回/年	1
				全ベータ放射能	10	1	1回/年	1
				放射性ストロンチウム濃度	400	1	1回/年	1
				プルトニウム濃度	1000	1	1回/年	1
6	海底土	海底土	海砂または海底土	ガンマ線放出核種濃度	3kg	1	1回/年	1
				放射性ストロンチウム濃度	1kg	1	1回/年	1
				プルトニウム濃度	3kg	1	1回/年	1
7	指標植物	松葉	葉	ガンマ線放出核種濃度(ヨウ素-131を含む)	0.2kg	5	4回/年	5



## (2) 測定地点等

## ア 空間線量率

No.	地点の名称	所在地	備考
1	福島市 紅葉山	福島市杉妻町2	
2	郡山市 日和田	郡山市日和田町高倉字下中道116	
3	いわき市 平	いわき市平字梅本15	

## イ 環境試料

## (ア) 降下物

No.	地点の名称	採取地	測定項目
1	福島市 方木田	福島市方木田字水戸内16-6	γ核種
2	三春町 深作	三春町深作10-2	

## (イ) 大気

## a 大気浮遊じん(簡易型ダストサンプラーによる測定(毎月1回1日間測定))

No.	地点の名称	採取地	測定項目
1	福島市 方木田	福島市方木田字水戸内16-6	γ核種
2	会津若松市 追手町	会津若松市追手町7-40	
3	郡山市 麓山	郡山市麓山一丁目1-1	
4	白河市 昭和町	白河市昭和町269	
5	相馬市 玉野	相馬市玉野字町74	
6	伊達市 富成	伊達市保原町富沢字羽山8	
7	南会津町 田島	南会津町田島字根小屋甲4277-1	

## b 大気中水分

No.	地点の名称	採取地	測定項目
1	福島市 方木田	福島市方木田字水戸内16-6	<sup>3</sup> H

## (ウ) 陸土

No.	地点の名称	採取地	測定項目
1	福島市 荒井	福島市荒井字地蔵原	γ核種, Sr, Pu, Am, Cm
2	郡山市 逢瀬町	郡山市逢瀬町多田野	γ核種, Sr, Pu
3	いわき市 川部町	いわき市川部町字大沢	γ核種, Sr, Pu
4	白河市 大信	白河市大信限戸	γ核種, Sr, Pu
5	相馬市 中村	相馬市中村	γ核種, Sr, Pu
6	会津若松市 一箕町	会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合	γ核種, Sr, Pu
7	南会津町 糸沢	南会津町糸沢字西沢山	γ核種, Sr, Pu

## (エ) 陸水(上水)

No.	地点の名称	採取地	測定項目
1	福島市	福島市方木田字水戸内16-6	γ核種, <sup>3</sup> H, Sr, Pu
2	会津若松市	会津若松市追手町7-40	γ核種, <sup>3</sup> H

## (オ) 海 水

No.	地 点 の 名 称	採 取 地	測定項目
1	相 馬 市 松川浦	相馬市松川浦沖	全 $\beta$ , $\gamma$ 核種, $^3\text{H}$ , Sr, Pu

## (カ) 海底土

No.	地 点 の 名 称	採 取 地	測定項目
1	相 馬 市 松川浦	相馬市松川浦沖	$\gamma$ 核種, Sr, Pu

## (キ) 指標植物 (松葉)

No.	地 点 の 名 称	採 取 地	測定項目
1	福 島 市	福島市杉妻町	$\gamma$ 核種
2	郡 山 市	郡山市麓山	
3	白 河 市	白河市南登り町	
4	会 津 若 松 市	会津若松市城東町	
5	南 会 津 町	南会津町永田	

- (注)  $\gamma$ 核種 : ガンマ線放出核種濃度  
 $^3\text{H}$  : トリチウム濃度  
 全 $\alpha$  : 全アルファ放射能  
 全 $\beta$  : 全ベータ放射能  
 Sr : 放射性ストロンチウム濃度  
 Pu : プルトニウム濃度  
 Am : アメリシウム濃度  
 Cm : キュリウム濃度

## 7 高線量測定用モニタリングポストによる測定

高線量測定用モニタリングポスト(電離箱検出器)は、モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション検出器)設置地点と同地点に併設し、空間線量率の測定結果を補完するとともに、緊急時における高線量の測定の用に供するため常時測定を行うものとする。

## 8 可搬型モニタリングポストまたは移動測定車による測定

可搬型モニタリングポストまたは移動測定車による測定は、モニタリングポストの故障などにより長時間の欠測が予想される場合、基礎調査、精密調査または緊急時調査を行う場合に実施するものとする。

## 9 測定結果の報告等

- (1) 環境創造センター所長は、それぞれの測定結果を1ヵ月毎に取りまとめ、指定の様式により危機管理部長(放射線監視室経由)あて報告するものとする。
- (2) 高線量測定用モニタリングポストの測定結果については、緊急時における高線量の測定の用に供することから、通常は原則として報告の対象としないものとする。  
ただし、NaI(Tl)シンチレーション検出器による測定値が、毎時10マイクログレイを超える場合は、電離箱検出器による測定値を採用するものとする。
- (3) 危機管理部長(放射線監視室)は、測定結果の評価・解析について、「廃炉に関する安全監視協議会 環境モニタリング評価部会」における意見等を参考にとりまとめ、四半期報及び年報として公表する。

## 10 測定値の取扱い方法

測定値は、次のとおり取扱うこととする。

項目・試料名		単位	測定値の取扱い	
空間放射線	空間線量率	nGy/h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均値は、1時間値の測定値の和を測定値の数で除して求める。</li> <li>・最大値は、1時間値の最も大きな値とする。</li> <li>・表示は整数とし、4桁以上になる場合は有効数字3桁として4桁目を四捨五入する。</li> </ul>	
	空間積算線量	mGy	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四半期ごとの測定値、90日換算値及び年間(365日)として求める。</li> <li>・表示は、小数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。</li> </ul>	
環境	全放射能 α全β	大気	Bq/m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均値は、6時間値の測定値の和を測定値の数で除して求める。</li> <li>・最大値は、6時間値の最も大きな値とする。</li> <li>・表示は、小数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。</li> </ul>
	全放射能 β	海水	Bq/l	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示は、小数第2位を限度とし、小数第3位を四捨五入する。</li> </ul>
試料	核種濃度	降下物	MBq/km <sup>2</sup> ・月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示は、小数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。</li> </ul>
		大気	mBq/m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示は、小数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。</li> </ul>
	陸	Bq/kg乾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示は、小数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。</li> </ul>	
	上水	Bq/l (Pu/AmBq/l)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示は、小数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。</li> <li>・トリチウム濃度は、小数第2位を限度とする。</li> <li>・ストロンチウム濃度は、小数第4位を限度とする。</li> </ul>	
	海水			
	海底土	Bq/kg乾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示は、小数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。</li> </ul>	
	指標植物	Bq/kg生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示は、小数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。</li> </ul>	

(注) 全β放射能及び核種濃度の検出限界値は、 $3 \times \sigma$ とし、検出限界値未満の測定値については、「ND」と表示する。ただし、「σ」は計数誤差とする。



## 局舎型モニタリングポストの新設について

### 1 目的

原子力発電所周辺地域において空間放射線量、大気浮遊じん等を24時間連続測定し、福島県環境放射能監視テレメータシステムで常時監視するため、局舎型モニタリングポストを設置した。

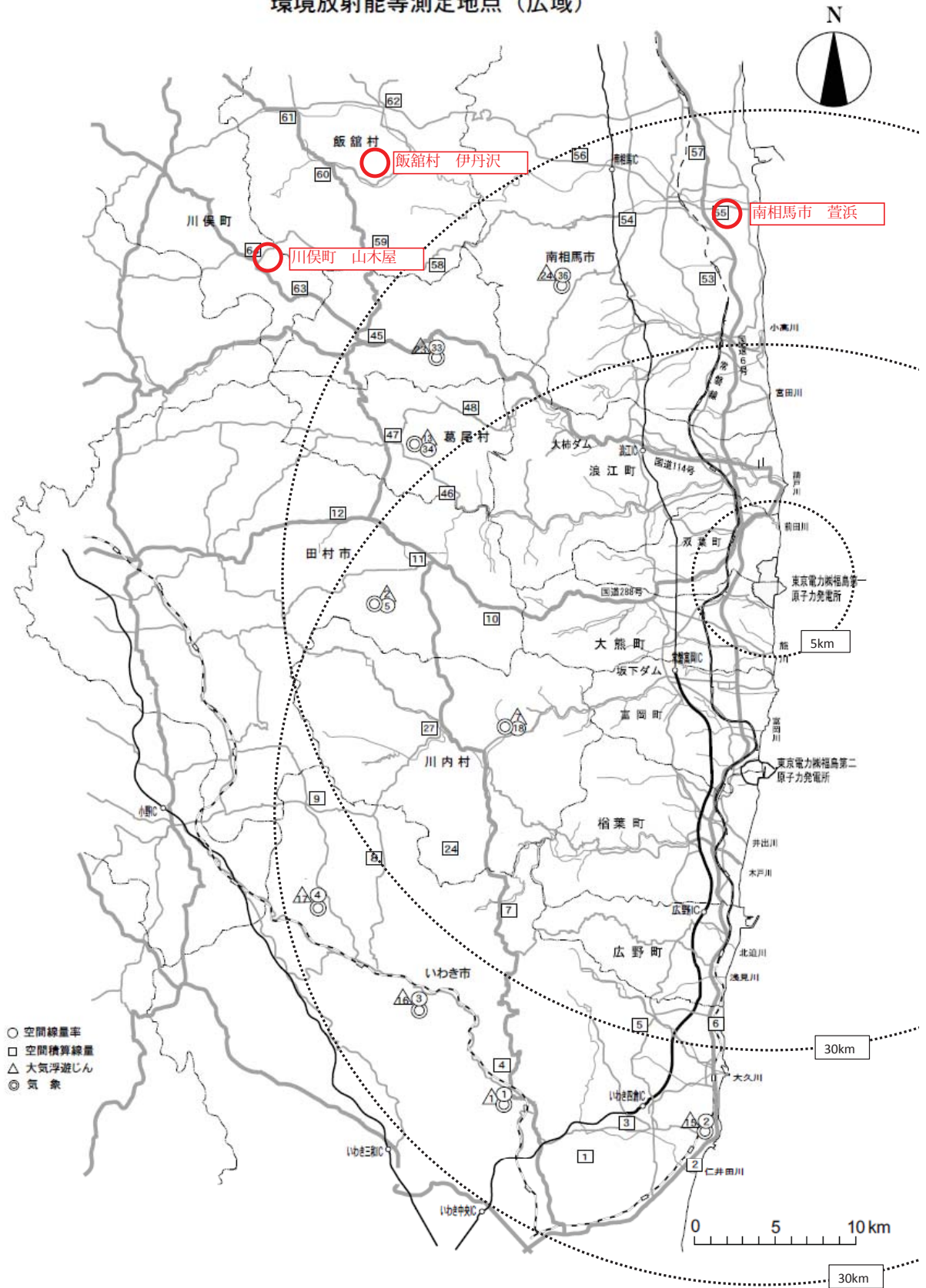
### 2 設置場所

- ・南相馬市萱浜 南相馬市原町区萱浜字巢掛場 45-169  
(福島県環境創造センター環境放射線センター)
- ・飯舘村伊丹沢 相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢 580-1  
(飯舘村役場)
- ・川俣町山木屋 伊達郡川俣町山木屋小塚山 9-1  
(川俣町立山木屋小学校)

### 3 概要

- 局舎
  - ・構造：高強度断熱ボードとアルミ板のアルミサンドイッチパネル構造
  - ・寸法：幅 5,000 mm程度×奥行 4,000 mm程度（南相馬）  
幅 3,800 mm程度×奥行 2,400 mm程度（川俣、飯舘）
- 放射線測定装置
  - ・NaI(Tl)シンチレーション式測定装置
  - ・電離箱式測定装置
- ダストモニタ
  - ・ダスト測定装置（集塵部測定及び2ステップ後測定）
  - ・ヨウ素測定装置
- 気象計
  - ・風向風速計、感雨雪器（3局共通）
  - ・温湿度計、雨量計、日射計、放射収支計、気圧計（南相馬市萱浜のみ）
- 環境放射能監視テレメータシステム
  - ・収集するシステムは冗長化
  - ・通信回線は多重化（有線・衛星・FOMA）

# 環境放射能等測定地点（広域）



## 降下物採取方法及び測定地点の見直しについて

### 1 経緯

降下物の測定は従来 3 地点で行っていたが、福島第一原子力発電所の事故（以下「事故」という）後、緊急対応として小型のステンレス製採取容器（以下「小型水盤」という）で採取地点を追加し、現在は発電所周辺監視用 17 地点、比較対照地点 9 地点で測定を行っている。なお、文部科学省放射能測定法シリーズでは 71 型大型水盤（以下「大型水盤」という）での採取を推奨している。

### 2 現状の問題点

小型水盤は大型水盤に比べて開口部面積が小さいため、今後測定値が小さくなった際に検出できない（検出下限値未満）恐れがあり、今後、長期にわたりモニタリングを行うためには望ましくないことから、より感度の良い大型水盤に切替える必要がある。

また、事故後に発電所から放出された放射性物質の降下量を調査する目的で調査地点を大幅に増やし、現在の調査地点となっているが、現在の測定値は汚染している地面等からの再浮遊の影響もあると思われ、測定の意義が薄れてきているため、発電所の監視に特化した調査地点への見直しが必要である。

なお、放射性物質による人体への健康影響については、大気浮遊じんの監視体制を大幅に強化しているため、十分評価できる体制となっており、また、発電所からの新たな放射性物質の放出があった場合には迅速に検知してお知らせできる体制となっている。

### 3 採取方法の統一及び測定地点見直し

発電所からの新たな放出を監視する目的で、測定地点は距離及び方位を考慮して発電所監視用地点 6 地点、比較対照地点 2 地点に見直し、採取方法は大型水盤に統一する。なお、町村からの要望があった 4 地点は小型水盤で引き続き調査を継続する。

### 4 測定地点

#### (1) 大型水盤での調査地点

方位（北、西、南）及び距離（近傍、周辺、比較対照地点）を考慮し 8 地点とする。

- ・近傍：双葉町郡山、大熊町大野、富岡町富岡
- ・周辺：南相馬市原町区萱浜、田村市都路、いわき市久之浜
- ・比較対照地点：福島市方木田、三春町深作

※なお、南相馬市原町区萱浜及び三春町深作は新規の測定地点であるため、それぞれ近傍の地点である南相馬市原町及び郡山市麓山との並行試験の結果を評価し、測定地点として適しているかどうか判断する。

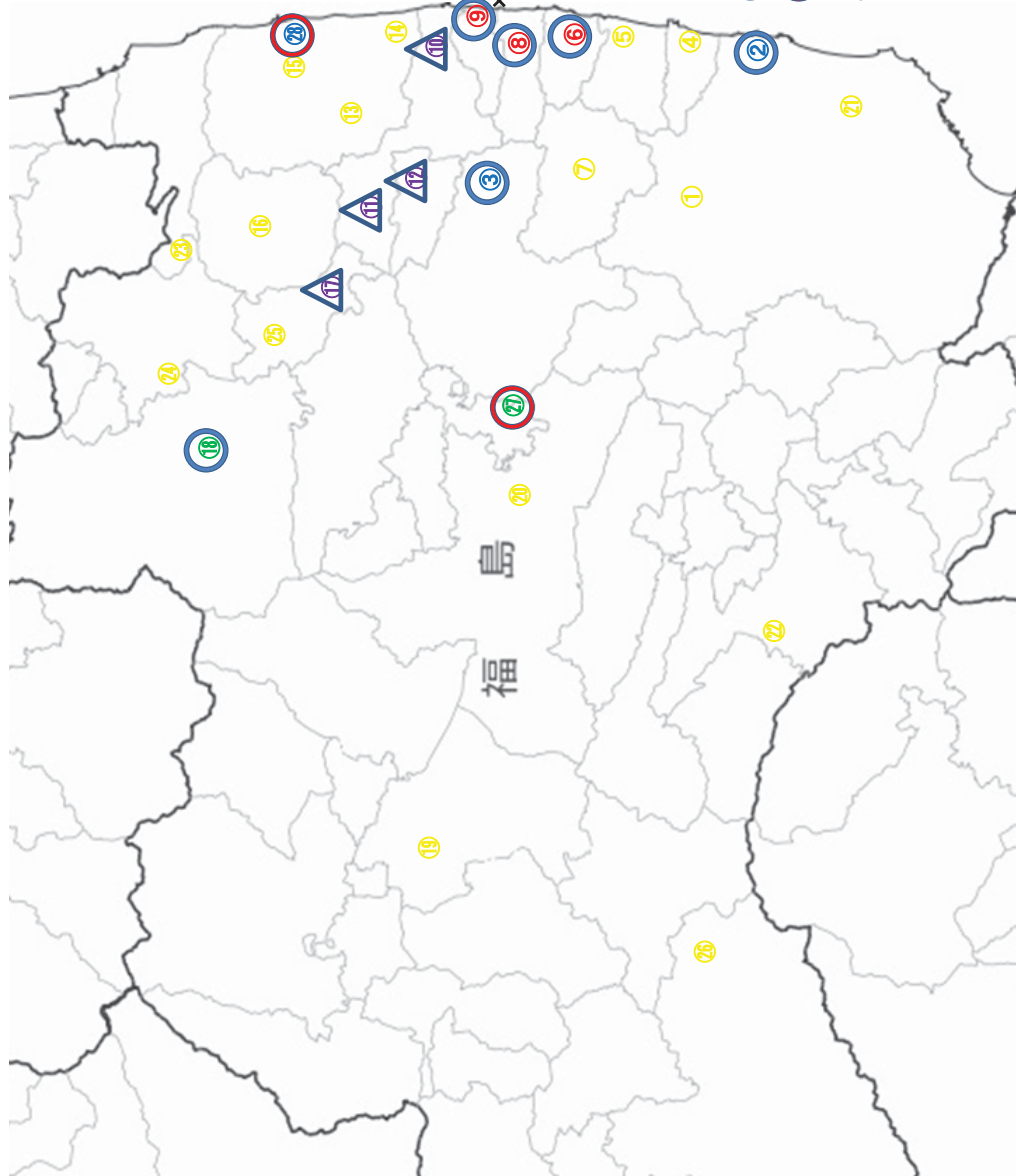
#### (2) 小型水盤での継続調査地点

町村から要望があった地点（浪江町浪江、浪江町津島、葛尾村柏原、川俣町山木屋）は小型水盤で調査を継続する。



# 月間降水物試験料採取地点(見直し案)

No	地点の名称	採取地
1	いわき市 州楯	いわき市州楯町五林6(いわき市役所州楯支所)
2	いわき市 久之浜	いわき市久之浜町久之浜字塚塚15
3	田村市 都路	田村市都路町古町字本町33-4 (田村市役所都路行政局)
4	広野町 平北迫	広野町大字北迫字苗代替35 (広野町役場)
5	楨葉町 繁岡	楨葉町大字上繁岡字山神97-36 (繁岡地区集会所)
6	富岡町 富岡	富岡町本町1-1 (旧富岡町役場)
7	川内村 土川内	川内村大字土川内字早瀬11-24 (川内科役場)
8	大熊町 大野	大熊町大字下野上字大野199 (旧原字力センター)
9	双葉町 郡山	双葉町大字郡山字塚腰93-1 (郡山公民館)
10	浪江町 浪江	浪江町大字権現堂字北深町34-1 (浪江町中央公園)
11	浪江町 津島	浪江町大字下津島字松木山22-1 (津島活性化センター)
12	葛尾村 柏原	葛尾村大字葛尾字柏原24-2
13	南相馬市 馬場	南相馬市原町区馬場字滝78-1 (横川ダム管理事務所)
14	南相馬市 福満	南相馬市小高区蛭沢字藤沼50
15	南相馬市 原町	南相馬市原町区鍋町1-30 (福島県南相馬合同庁舎)
16	飯館村 伊丹沢	飯館村伊丹沢字伊丹沢580-1 (飯館村役場)
17	川俣町 山木屋	川俣町山木屋字大清水3-5 (山木屋駐在所)
18	福島市 方木田	福島市方木田字水戸内16-6 (環境創造センター福島支所)
19	会津若松市 追手町	会津若松市追手町7-40 (会津保健福祉事務所)
20	郡山市 糎山	郡山市糎山二丁目1-1 (郡山合同庁舎)
21	いわき市 平	いわき市平字梅本15 (いわき合同庁舎)
22	白河市 昭和町	白河市昭和町269 (白河合同庁舎)
23	相馬市 玉野	相馬市玉野字野56-1
24	伊達市 富成	伊達市原町区富成字羽山8 (富成公民館)
25	川俣町 樋ノ口	川俣町樋ノ口2 (川俣町保健センター)
26	南会津町 田島	南会津町田島字稻小屋田4277-1 (南会津合同庁舎)
27	三春町 深作	田村郡三春町深作10-2(環境創造センター)
28	南相馬市 原町区菅浜	南相馬市原町区菅浜字真掛場45-169(環境放射線センター)



○:大型水盤で測定を継続する地点

○:大型水盤での新規測定地点

△:従来通り小型水盤で測定を継続する地点



各市町村からの意見及び対応

市町村	意見	対応
1 いわき市	<p>1. 国の原子力災害対策本部が継続していることから、東京電力福島第一原子力発電所の事故は未だ収束しておらず、1号機のガレキ撤去作業、3号機の建屋カバー設置作業など、大気中への放射性物質の飛散が懸念される作業が控える中、安易に測定地点を減らすべきではないと考える。</p> <p>2. 採取方法は統一するべきだと考えるが、「採取量の増加に伴い業務量が増えるため地点を見直す」といった理由には到底納得できない。</p> <p>3. 検討にあたっては、県民の安心を確保するため、測定メトリック・デメリックで議論するのはなく、降下物測定と大気中浮遊じん測定目的や測定対象について丁寧に説明し、廃炉安全監視協議会環境モニタリング評価部会の中で、専門委員を含めて議論するべきと考える。</p>	<p>・東京電力福島第一原子力発電所においては、大気中への放射性物質の飛散が懸念される作業が控えており、その対策として大気浮遊じんの監視を大幅に強化しており、万が一放射性物質の飛散があった場合にはその影響を迅速にとらえられる体制となっています。</p> <p>・地点見直しの一番の理由は、発電所からの新たな放出を捉えることを目的として発電所からの距離と方位で地点を整理することです。</p> <p>・モニタリング評価部会場で丁寧に説明し、専門委員からもご意見をいただきましたが最終的な検討を行います。</p>
2 田村市	意見無し。	
3 南相馬市	意見無し。	
4 川俣町	<p>1. 本件の見直しは、監視体制の縮小にはかならず、避難指示解除を今年3月31日に控える当町にとって、帰還者への安心の担保を無くす行為の一つであり、関連自治体の状況をみても、拙速な対応と言わざるを得ない。</p> <p>2. 見直し（廃止）しようとする測定地点は、汚染状況が避難区域の中で著しく大きい地域（帰還困難区域）である。複数自治体にまたがる広域である以上、福島県が責任を持って対応すべきである。</p> <p>また、仮にその代替対応を各自治体に委ねようとするならば、それは広域連携の要である福島県の責任放棄と言わざるを得ない。</p> <p>3. 当町と隣接する自治体地域は、未だ除染が行われていない帰還困難区域であり、同一地域だけの再浮遊とは言い切れず、降下物の影響が無くならないことは考えにくい。</p> <p>4. 福島第一原子力発電所の陸炉が始まったばかりで、かつ、未だトラブルの絶えない状況において測定地点を縮小し、監視体制を縮小するのは拙速である。</p> <p>5. 大気浮遊塵監視の強化を行うからといって、降下物監視を縮小することとが、住民の不安解消にはつながらない。そもそも、大気浮遊塵監視が降下物監視の代替となり得るのか。全ての地点を大型水盤にすれば、福島県が考える測定の統一性が保たれるのではないかと考える。</p>	<p>・いただきましたご意見を踏まえ、避難指示区域である川俣町山木屋は小型水盤のまま残し、県が引き続き調査を行うこととします。</p> <p>・川俣町樋ノ口はこれまで比較対照地点として調査を行っていた地点であり、発電所監視用の地点と比較すると重要性は低いため、廃止とします。</p> <p>・福島第一原子力発電所でトラブルが発生し、万が一放射性物質の飛散があった場合にはその影響を捉えられるよう、大気浮遊じんの監視を大幅に強化しています。</p> <p>・大気浮遊じんを測定することにより呼吸による放射性物質摂取による健康影響を評価できるため、住民の不安解消のためにむしろ大気浮遊じんの測定結果をお知らせする方が適していると考えます。</p>

		意見	対応
	市町村		
5	広野町	意見無し。	
6	檜葉町	意見無し。	
7	富岡町	意見無し。	
8	川内村	意見無し。	
9	大熊町	意見無し。	
10	双葉町	意見無し。	
		今回の見直し案については時期尚早であると考えます。健康への影響評価に適した大気浮遊じん等の監視体制については、震災後測定箇所を増やして対応いただいておりますが、地域住民にはまだまだ廃炉作業に対する不安が大きく残っております。採択方法の統一という趣旨は理解できず、問題点として挙げられた「今後測定値が小さくなる2地点について検出できない」という値は、当町で測定していた2地点から測定地点としては該当しておらず、また、見直し後に上記に合わせ、今後使用済燃料プールからの燃料取り出しや、燃料デブリの取り出し等廃炉作業が本格化する中での測定地点の見直しは、大部分の測定地点で検出限界値未満もしくはそれに近い値が続くのであればともかく、現時点では監視体制の縮小と取られかねず困難と考えます。	
11	浪江町	・今回の見直し案で降下物測定地点から外れる「葛尾村・柏原」は帰還困難区域に設定されている野行地区区内にあり、放射性物質の数値に対して特に関心の高い地区である。 ・野行地区は本村唯一の避難指示区域であるため、今後も放射性物質の調査等について力を入れていただきたいこと、可能であれば引き続き調査地点としていただきたい。	・いただきまましたご意見を踏まえ、避難指示区域である浪江町津島及び浪江町浪江については小型水盤で調査を継続します。
12	葛尾村		・いただきまましたご意見を踏まえ、避難指示区域である葛尾村柏原は小型水盤で調査を継続します。
13	飯館村	意見無し。	